

まちの話題

あなたの声や地域、職場での話題を
お寄せください。
☆役場総務企画課まで（電話72-0331）

被害者にも温かい支援を

犯罪被害者支援講演会

3月19日、黒坂警察地区犯罪被害者支援連絡協議会主催の講演会が、町文化センターで開かれました。

今回は、放火犯を捕まえようとして犯人に重傷を負わされた息子をもつ岩谷利男さん（埼玉県）の講演が行われました。

岩谷さんは、「息子が事件に遭った後、プライバシー侵害やマスコミの取材など辛い時期があったが、被害者支援センターの存在を知ったことで救われた。皆さんも犯罪被害に遭ったら警察や被害者支援の窓口のためらわず相談してほしい」と話し、日野郡内から集まった参加者は真剣に聞いていました。

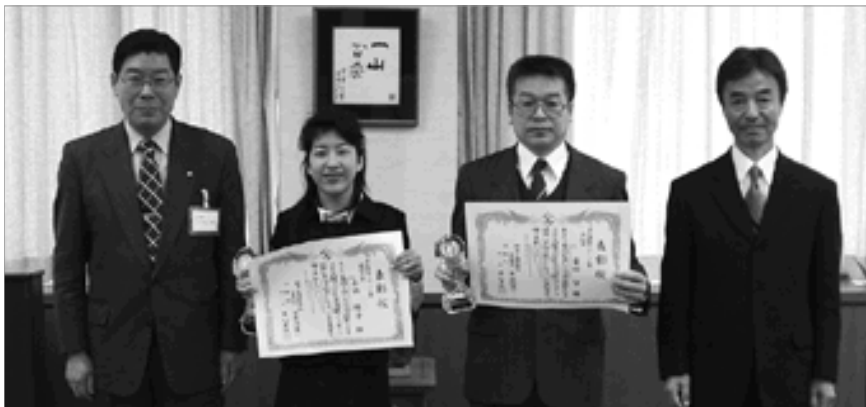


日本の被害者支援はまだ遅れていると語る

スポーツを通してまちに貢献

日本海新聞スポーツ大賞表彰式

昨年一年間にスポーツで優秀な成績を収めた個人・団体などを表彰する、「第9回日本海新聞スポーツ大賞」の表彰式が、3月24日、町役場で開かれました。



左から、景山町長、小林さん、音田さん、新日本海新聞社西部本社販売課長 足立治さん

今回は、最優秀賞の小林綾子さん（上菅）と奨励賞の音田守さん（野田）に、景山享弘町長から表彰状と記念品が贈られました。

小林さんは、昨年10月に開かれた第7回全国障害者スポーツ大会陸上競技の部に県代表として出場、女子21区分1部60秒走で第1位、同区分の立幅跳で第2位という優秀な成績を残し、今回の受賞となりました。

受賞について小林さんは、「学校の先生に勧められ、初めて大会に出場しました。初めの立幅跳で2位になり、次は絶対に勝ちたいと思い、60秒走で優勝できました。次の大会も出られたいです。次も良い成績を残したい」と話しました。

音田さんは、少林寺流空手道の師範として25年以上にわたり地域の青少年を指導、健全育成に尽力したことが評価され、今回の受賞となりました。

音田さんは、「空手を始めて約30年。今は江府町と日南町で週1回ずつ指導しています。子どもから大人まで一緒になって、汗にまみれ、苦しさにも耐える力など、与えられた使命を次の世代に伝えていきたい」と抱負を語りました。

願いをこめた600キロ

伯耆三三 三杵所巡り日野町へ



県軟式野球連盟審判部長も務める吉島さん

青少年の健全育成を目指そうと、米子市の吉島潤承さんが伯耆地域の三十三札所を歩いて巡り、3月27日に日野町を訪れました。

吉島さんは25日に自宅を出発し、27日は伯耆町の伝燈時を訪問した後矢倉峠から日野町に入り、鶴の池で根雨スポーツ少年団の子どもら18人と合流、長楽寺までの道のりを一緒に歩きながら交流しました。

吉島さんは子どもたちに、「何でも勇気をもって一歩進み出てほしい。これからの人生、失敗してもお互いに許しあう気持ちを大切にしてほしい」などと話しました。

この後吉島さんは全行程約600キロを歩き、4月6日にゴール地点の米子市に帰り着きました。

またオシドリに会いに来たよ

東京の小学生、オシドリ観察へ

3月28日から31日にかけて、オシドリグループ(池岡幸三代表)と交流を続けている東京都の小学生6人が日野町を訪れました。

子どもたちは、オシドリのえさとなるドングリを集めて送るなどの交流をしています。今回訪れた中にはオシドリを初めて見る子どももあり、「初めて見たオシドリはとてきれいで、日野町に来て良かった」と話していました。

子どもたちは滞在中、米子市の水鳥公園に行ったり、餅つきを体験したりと、田舎の生活も味わいました。また、4日間を振り返って、「オシドリを通じていろいろなことが学べた。機会があればまた来たい」と話していました。



数百羽のオシドリの姿に感動

55年間ありがとう

黒坂保育所卒園式・閉所式



お別れのことばを述べる卒園児

4月からひのっこ保育所に統合する黒坂保育所最後の卒園式と閉所式が、3月28日に行われました。

卒園式では、年長児5人が滝田美紀子所長から卒園証書を手渡されました。

卒園式に引き続き、閉所式には保護者も出席して行われました。式では景山町長が、伝統ある黒坂保育所を長い間支えていただき感謝しています。ひのっこ保育所に統合しても、職員一同ご期待に沿える保育所をつくっていきたいとあいさつしました。

また、園児たちによる1年間の思い出の発表や歌と踊りが披露され、昭和27年の開所から55年の間、地域の子どもたちを育ててきた黒坂保育所は幕を閉じました。

新しい友だちたくさんできた

ひのっこ保育所入所式

黒坂保育所と統合になったひのっこ保育所(津地)の入所式が、4月2日に行われました。

この日は、ひのっこ保育所と旧黒坂保育所の園児69人と、新しく入所する20人の園児の、合わせて89人が集まり、保護者が見守る中、にぎやかに行われました。

園児たちは、新しい友だちが増えた喜びで笑顔で参加、園児点呼で一人ずつ名前が呼ばれると、「はい」と大きな声で返事をしていました。

式典の終わりには、全員で「チューリップ」を歌ったり、記念撮影も行われました。



これからの生活に胸躍らせる園児たち

女性隊員が新たに誕生

町消防出初式・任命式



女性隊員は主に火災予防などの広報業務を行う

4月6日、町消防出初式・任命式が、根雨小学校で開かれ、団員40人が出席しました。

式典では、各表彰や、団長ら幹部団員の任命が行われたほか、新しく結成された女性隊員4人が任命されました。

また、宮脇光男団長が「女性隊員には、これからいろいろと勉強してもらいたい、地域の皆さんが安全に生活できるように努力してもらいたい。また、団員全員による災害に強いまちづくりに期待したい」とあいさつしました。式典のあと、団員たちは野田河川敷から消防車で一斉放水し、壮大な水のアーチを大空に描きました。